

会議報告書

会議名	三朝町立小学校統合準備委員会（第5回）
日時・場所	平成29年8月25日（金曜日）19:00～20:08 役場 第4会議室
出席者	保護者代表 内田成則（東小）、相澤涼太（西小）、福田徹（南小） 学校関係職員 中島校長（東小）、笠見校長（南小） 地域代表者 森下洋一（小鹿）、藤井博美（みささ村）、小椋伸夫（高勢）、 牧田幸一郎（賀茂）、高見昌利（竹田） 必要と認める者 塩谷俊樹委員長、北野三朝中学校長、重信眞也元南小学校長、 小椋秀一（H27 西小 PTA 会長）、山本聡美（H27 東小 PTA 副 会長）、藤原厚美（H27 西小 PTA 副会長）、寺坂大典（H28 東 小 PTA 会長） 教育委員 藤井俊子委員、芦田準子委員、大丸満壽委員 （オブザーバー） 事務局 西田教育長、藤井教育総務課長、福田主任（兼保護者代表）、 平井指導主事、畠中室長
欠席者	富山西小学校長、相見正二（三徳地域協議会）、岸田寿和（H27 東小 PTA 会長）、 小谷和史（H27 南小 PTA 会長）、川北晴夫（H27 南小 PTA 会長）
委嘱状交付	保護者代表 内田成則（東小）、福田徹（南小） 学校関係職員 笠見校長（南小）
報告事項	経過報告
協議事項	（1）三朝町義務教育の将来像について （2）三朝町小学校統合準備委員会について
その他	

会議の内容

1 開 会 委員長

午後7時00分

第5回三朝町立小学校統合準備委員会を開催します。

準備委員会は昨年8月から開催されていなかったということで、その後の経過報告とこれからの進め方、三朝町の義務教育の将来像について説明していただきながら進めていきたい。

教育長

委員長さんからお話があったように、平成28年8月から統合準備委員会は開催されていません。

平成28年9月議会で統合に向けた補正予算を提案しましたが否決されました。

平成29年1月から教育長、教育総務課長が新しく着任し、新しい体制で今までのことを整理しながら今日までできました。

小学校統合は、必須の課題だと思っております。

今回、義務教育の将来像についてまとめ、どのように進めるかを説明させていただき協議いただければと思います。

東小、南小の子どもたちのこと、特別支援を必要とする子どもたちが多くなっていることのための支援が必要であるが、今の学校設備では十分な教育ができない。さらには、学習指導要領の改定により英語教育、プログラム教育をやっていくという国の方針もあり、学校のこれからの教育活動が変わってくる。それに対する整備をしなければならない。それは、大きな課題である。

さらに、小学校独自の活動の良い点をできるだけ残してまとめ上げていくと

ということが小学校統合の課題である。

今日までなかなか進まなかったことは私たちは反省し謝罪する気持ちでいっぱいです。

子どもたちのことを考えていただき、少しでも前に進むようお願いしたい。

委員長

資料日程に従いまして進めていきたいと思います。

委嘱状の交付をお願いします。

委嘱状交付

西田教育長から委嘱状を交付

委員長

経過報告をお願いします。

事務局

経過報告（会議資料2ページに基づき説明）

委員長

協議に入らせていただきます。

事務局

三朝町義務教育の将来像ということで教育委員会の考え方をまとめましたので、第5回の統合準備委員会の開催ということにさせていただきました。

（会議資料3ページから6ページに基づき説明）

今回作成したリーフレットについては、町民の方々にもお配りしご理解とご意見をいただきながら進めたい。

委員長

説明いただいた三朝町義務教育の将来像に基づいて案ということでスケジュール等案ということで説明していただきました。質問、意見がある方はお願いします。

委員

統合準備委員会を立ち上げ、平成30年度に統合ということで議論をしてほしいということがスタートだった。

平成28年2月15日の統合準備委員会で平成30年の統合を平成32年に変更するということが教育委員会で11回くらい協議して変更したということを実然言われた。その段階でこの統合準備委員会は廃止すべきだったのではないかと思う。先が見えない部分で第5回と言われてもちょっと違うのではないかとそれが1点。

説明があった部分は教育委員会で話し合われたことで、われわれのやることは学校の位置、名称、校章、校歌とか議論することであって、学校の将来像とか現状とかを話す場ではない。ここの要綱にあることである。

もっと具体的な新校舎なのか、今の西小を使うのか提案をもってきて、じゃあどうしますかという議論をしないといけない。

委員

学校の将来像とか現状とかは、教育委員会が話し合うことだ。

委員

もう少しきちっとした提案を出してほしい。

委員長

具体的なことを話を進めていかなければならないのですが、前段でこのような話をもとにということなんだろうと思います。ただ、具体的な話となるとどうですか。

事務局

言われることは要綱の中にもあることなのですが、ここ1年間進めなかったことの理由とおわび、また昨年末に教育委員会で将来像を示してから次の段階に取り組むという話がされていまして、その部分についてもご理解をいただいておりますということでこの会を開かせていただきました。

今後、具体的に進んでいきますと、言われるように学校がどうあるべきか、学校の施設の具体的なものを議論していただくことが増えてくると思いますが、現段階では義務教育の将来像をお示しさせていただいたという状況です。

委員長

もう一つ言わせていただくと、小中連携をどうするんだという話も出てきていまして、それを含めてこの将来像が出てきたのかなと思います。

委員

教育委員会が提案した議案を議会がなぜ否決されたのか。どの部分が悪かったのか、この検討はされたのか。

どこの場所に校舎を建てるのかの提案も統合準備委員会に説明もないままにいきなり議会に提案されましたよね。提案された後、土地の問題、価格の問題など色んなことが言われましたよね。

そこで議会に否決されましたよね。その反省、何を否決されたのか。否決された部分は何だったのか。議会対応的なことは考えられましたか。

委員長

その部分については、話ができますか。

教育長

先ほど委員さんがおっしゃるようになぜ否決されたのか。唐突に提案された

ということもありました。

どういう小学校をという中には、文科省が義務教育学校を作っても良いということを知ったわけで、その背景の中でどういう小学校を目指すのかということが十分に論議がされていないというのが一つあったと思います。

それと、十分な論議をせずにここに学校をしようというふうなことがあったかもしれません。

統合準備委員会で十分論議されて、それを教育委員会にかけて、という手続が十分になされていなかったという反省の上で、もう一度この今回のパンフレットはおさらいという意味があつて、さらに最短という表現をしていましたが、なかなか自信がもてないところがありますので、今回このような表現になっています。

この中で、新小学校の立ち上げと、新校舎の建設を分けて考えています。というのは、先ほど少しお話があつたと思うのですが、校舎をどこにするかというのは、この会で決めていただかなければならないわけですが、新小学校を立ち上げて学校名とか色々整備する中でハードは後にしてでもソフトだけでも早く決めてしまって、西小の校舎を使ってでも統合をやっていくと。最終的に新校舎ができてから全員で移るといふことも考えられるといふところで若干不明確なところがそこにあるわけです。

そういう思いでこの二段構えの説明をさせていただいています。

義務教育学校のことも並行して、基本設計の中で、新しい小学校の場所とか色々なものを含めたものを決めてこれを準備会にかけ、さらに準備会の意見いただいたうえで教育委員会また決定し、議案として議会に運ぶといふ考え方であります。

今現在、西小学校の校長先生にはご苦勞をさせていただいていますが、小学校で統合に向けて合同で例えば1日授業をしようといふ西小学校に集まるといふようなことを少しづつ現実的に統合に向けた手立てもしていただくようなご努力もしていただいています。

そのようなところが、現在考えているところです。

委員

僕らは決して反対しているわけじゃないので、応援はしたいんだけど、まどろっこしい。どんどん進めてもらいたいと思つているんだけど、こんなことをしてはいつまでたつてもできないので、できるだけ具体的に実施をやってもらいたいと思う。

教育長

思いとしては、先ほど事務局が言いましたように、1年間（この会）開かずには何もしていなかったといふことでの謝罪と、教育長が不在になつたといふこともあつたものですから。

本当は4月5月にしたかつたのですが、議会の説明で将来像、今後のスケジュールをお話をさせてもらったうえで今回開かせていただいた。あらためて謝罪します。

先ほど、委員さんがこの会の目的は2条に書いてあるとおりでと。次回からこの2条にかいてあることを一つずつ丁寧にこの会で決めていただき教育委員会でさらに論議を深め、その経過につきましては、町民皆さんに分かっていただくといふこともして行かなければならないと思つています。

それは、先ほどの反省に立つてあまりにも統合の話が町民に知らされていなかったといふ反省もありますので、その点、留意しながら進めてまいりたい。

委員長

委員の皆さん、教育長ともほぼ同じ意見で、統合に向けて進めていくといふことに異論はないと思つていますし、次回はもっと具体的に提案を出していただいと皆さんと議論をしていきたいと思つています。

他にご意見ある方はどんどん出してください。

委員

パンフレットの新小学校の立ち上げの具体的な中身をお願いします。

教育長

所掌事務の2条にありますところのハードを除いたところで、(1) 学校の位置を除いて、新小学校を立ち上げてしまいたい。

そうすると仮に西小学校の校舎を使つてしますよと、ですが、校舎は建てたいといふ思いがありますので、校舎のことは後にゆづつても学校は一緒にしてはどうかと。新小学校の位置が決まれば通学方法などおのずと次には出てき

ます。ただ、PTA の組織とかは進めていくことができるのでないかと。

学校での活動も、サンサンプランは変わらないと。南小のスキー遠足、東小で小鹿溪に行ったりなど特徴のある活動をされているので、それをなくすのはもったいないので、どの程度新しい学校でできるのか学校のカリキュラムを考えながら組み立てていきたい。

新校舎の建設は基本設計の中で考えていきたいということです。こんなことでよろしいでしょうか。

委員
教育長

要は新しい学校ができるということですか。

イメージとすると建物はなくても学校はできるということ。例えば三朝小学校という仮称の小学校ができたとなると、そこに入る学校は入りましょう。校舎がないと入らないぞという場合はそれもやっていけるような状態で。

古くは、名目統合という状態がありましたが、それも検討しましたが、名目統合の場合、東小校舎、西小校舎、南小校舎とそれぞれあって、今までと変わらない教育活動をしなければならないのですが、そこには、校長先生がいないそういう学校になってしまう。どこかの学校にはおられるかもしれないけれど、そのようなことを考えると、今日的な教育活動としては、名目統合は不可能と考えます。

ですから、名目統合せずに新しい学校を作ってしまうと。ただ、場所については、当面、西小学校であったりする。

そういうイメージをしていただいて、これについては、地方教育アドバイザーの方に来ていただき今後、そのあたりを詰めていきたい。

おおまかな考え方として示させていただいたということです。

委員
教育長

要は新しい学校が来年度はできるということですね。校舎は別として。

来年度はできるかどうかはもう少し、ここで決まって OK してもらえば県教委とは春先に少し話をしているんですが、1年はくれというのは県教委の考え方でして、人事のこともあるので。思いとしては、最短でここで詰めていって、30年中か31年、遅くとも31年には統合のことが県教委との話の中ではできるのではないかというのが、この新小学校の立ち上げの長い帯になってしまったということで、実務での話もあります。

委員長
委員

ご理解いただけましたか。皆さん。

とりあえず、東小学校は置いといて、南と西が来年西小の校舎で一緒になるという方向だということですか。

教育長

というか、仮称の三朝小学校という4つ目の学校を作ってしまいたいと。そこに条件が整ったところから入ってくださいというイメージです。

形だけは、仮称の三朝小学校を提案させていただいて、これに東小学校さんが入ると言われれば入るかもしれませんが、でも、現実的な、地理的なことを考えると西小学校に集まって、新校舎ができるまで待ちましょうかというのが自然な流れかなと思うわけですが、同時に来れるかどうか分からないが、各小学校を閉校して仮称の三朝小学校ができて構わないのかなと。

委員

西小にもし、入るとなれば、入る前に西小に工事を入れて費用がかかってしまうということになる。昨年度までの委員会の中で、結構費用のことでごちゃごちゃして。

委員長

今の西小でも職員室などいっぱいいっぱいということですから、改修工事が必要になると。

委員

そうなると二度手間みたいな形になると。小学校新築と同時にといったことに前回もその方向に向けてということだった。

教育長

先生の数はかわらないんですよ。三朝町が（小学校が）一つになっても先生の数は変わらない。三朝町が一つになっても学級数が変わらないと先生の数は変わらなくてそれプラス加配というのがあって、特別支援学級や複式解消とかあって色々な加配の制度があってそれで今の先生の数が決まっている。色々な加配の制度を利用して先生の数を増やすやり方しかない。

生徒の数が増えるから手狭という、以前40人、50人が入っていたことがあります、それが少し狭くなるということはあると思います。それを改修するというにしますと二度手間になりますから広げるというのは、もう一つ

問題なのは、特別支援学級がどれだけ増えるか、そちらの方が大きな問題で、今、普通教室を2つに割ったり3つに割ったりして特別支援をやっています。それがグラフに示しているように増えている。先ほど説明しましたが、かつては見えなかった（大人が気が付かなかった）特性のある子どもさんにあった教育をしようということで、加配の先生が入り教室も分けてそこで勉強すると。その教室は増やさないといけないかもしれません。学年の具合がありますから。

委員

おっしゃるように少しは改修が必要になるかもしれませんが、すごく二重にはならないのではないかと。でも必要なことであろうと統合に向けて。

東小の方で陳情書を出させてもらったが、東小の父兄は白紙に戻っていると思っているので、多分もう一度地域に戻してもらって、地域協議会のほうで本当に統合するのかというアンケートからもう一度やり始めるというふうになっている保護者は多いと思います。

教育長

そういうことは考えておられるか。

考えていない。統合するために私たちは小学校統合に向けて努力するというふうにこれまで老人クラブを始め地域協議会、PTAにも説明してきています。

委員

だからそれを聞いている東小の保護者は白紙に戻っているのに統合ありきで話をされていてどういうことなのと思っておられます。

教育長

そこについてはそういうことであれば、もう一度東小のPTAの皆さんに集まっていたいただいて、このパンフレットも配るわけですから再度お話をさせてもらったと思います。

委員

少しでもたくさんの情報を保護者に出してあげてほしいです。教育委員会に対する信頼感がないあきらめの気持ちでおられました。東小の保護者に細かい説明をお願いします。

教育長

わかりました。

委員長

それはぜひお願いをします。

委員

先ほどの委員さんの方からも心配されていますが、今日の会議は（統合の）前段の話ではない。私たちは統合して、どこでどうやってやるのか。校章はどうするのかといった話をする会。確かに地元の方が心配されているというのは分かるが、やるかやらないかは別のところ（前段で）でやってほしい。

委員長

するかしないかは我々準備委員が協議することではない。

教育長

ぜひそこはお願いします。

確認させていただきますが、今、言われたことはこの会自身の大きな問題であって、そこは今日はいっぺんに話をしているようなことで大変申し訳ないと思っている。仕切り直しの気持ちもありますからそこはご容赦いただいて、先ほどおっしゃったように東小のPTAの方については、会長さんとお話して、もう1回そういう会を説明させていただく。教育委員会としては統合するという事は変わりませんよと。ただ、今まで情報を出していなかったからご迷惑をおかけしたという意味のそういう会をさせていただきますので、その点はよろしくをお願いします。

委員

先ほど委員さんの言われたことについては、大変今日は申し訳なく思っているのですが、次の会には（1）～（8）の決めれること皆さんにご協議いただけることが決まり次第、随時（開催します）足を運んで協議していただきたい。

今日の日本海新聞で、境港の方で小中一貫の部分で非常に三朝町にも似合うような新聞記事が出ていた。議会で小中一貫の提案は出ていると思うが、小学校だけを統合するという今の問題と、前教育長の時には、小中一貫は考えていないと、その時の話では、西小学校は耐震化をしたものの老朽化があるということで建て建て直さなければならないと。それならなぜ何年か前に3億円もかけて耐震化をやったんだということもあるがそれは置いて。

じゃあ中学校はどうかというと、中学校は耐震化工事をしたから、後20年は大丈夫という話をされた。

じゃあ20年は校舎は問題ないから小中一貫はしないという話なのかということで、今の議会の否決された一つの理由の中には、小中一貫という部分ほど

うなっているのかということが議題になっていたと思う。

今日の新聞でも審議会が小中一貫を提案していますが、三朝町の教育委員会ではどう考えておられますか。

教育長

小中一貫について、十分な論議がされずに答弁が明確にされなかったように記憶しています。その点については、スケジュールの中でもお話をもらったのですが、義務教育学校が小中一貫であったり、施設一体型なのか、分離型なのかということがあって、義務教育学校の研究進めて9年間でどういう教育をするのかというのを教育委員会でしっかり話をしていくと。そういう意味で基本設計とだぶらせて、もし、基本設計の中で話をしながら義務教育学校で一つにするということになれば、例えば中学校の所に建てるということになるのかもしれないし、そのようなことが、設置場所を決定するときの一つの判断基準になると思っています。

委員

前回、前々回、西小は老朽化しているので危ないですよ。中学校は大丈夫ですよ。小学校を建てた後に起債償還が始まる13年後に中学校を建て替えるのかという話です。これから三朝町が30年後に存続しているかどうかの話です。教育100年じゃないがもっとその部分も踏まえてものを考えてほしいというのが議会の要望であったと思う。小中一貫も検討してほしいという部分、そういう部分が足りないからこの提案には無理があるという結論だった。

教育委員会の中で、小中一貫という部分がなされてないのであれば、また議会の抵抗にあうと思います。なぜ、この問題が議会が反対したのか、問題をクリアしていかなければ新しい議会になっても、新しい町長になってもまだ、この議論が続いていく可能性がある。バシッと決めてほしい。

委員

ちょっと聞きたいのですが具体的なことを。先ほどから教育長の発言を聞いているとあいまいな明確でないことがある。準備委員会にはもう少し、具体的な提案をする必要がある。例えば、特別支援学級の子どもの教室が校舎の中でどうなのか。いまだにわからないのかどうか。今の小学校の中に南小も東小も入ることはできないのか。多額のお金をかけて改修しなければならないのか。そのあたりを教育長としてきちっと把握をしていただいて。そこは無理なら無理で、こういう方法で新しいものを建てないといけないので、その間はちょっと待ってもらおうとか、その次に考えることであって、そこをはっきりしてもらって立ち上げを平成30年度。立ち上げというのはどういう意味なのか。統合するなら統合すると明記して、西小学校に入るなら入る。これは案ですが、そのようなスケジュールを明確に出して行って準備委員会、教育委員会がどう判断されるのかということだ。議会の声も重要だが、それ以上に準備委員会の専門家の人の考え方をまとめていくということが大事だと思う。

これが崩れるとどうしても議会に負けてしまうということになるので、きちんと教育長は把握をして議会対応なり、いつでも答弁できるようにしてもらおうという強い姿勢をもって一步を進めてもらいたい。

ここ10年、20年元気な子どもたちをどう育てていくかそれが私たちの使命だ。我々は応援していきたいと思っている。

委員長

今、色々な意見が出ましたが、統合に向けて一致団結して取り組んでいくというのは間違いがないことだと思っています。今回は再立ち上げということで、具体的なことは出てこなかったが、次回はきちっと地域の方、特に東小保護者の方にしっかりこの方向性をパンフレットで説明していただくということを前提に、次回は小中一貫のところも説明していただかないといけないのかなと、実際に先生、児童が教室に入れるのかどうかということも含めてスケジュール（案）を出していただくということでよろしいでしょうか。

全委員
委員長

(特に意見なし)

それでは、次に(2)三朝町小学校統合準備委員会についてということで、説明をお願いします。

事務局

前回までの準備委員会では、当日、資料を配らせていただいてそこで方向性をとった会でしたが、今後は資料をお配りしたり検討していただく時間を取りながら一度この会をすると次の会で結論を出すといったことをしたいと考えています。

もう一つは、学校の保護者の代表者、学校関係職員、地域代表者、必要と認める者に委員になっていただいています。学校のPTA関係の保護者の方につきましては、今までの流れの分かっておられる方に残っていただいて議論するのが良いということで27年のPTA会長さん、副会長さん入っていただいておりますが、これでこの会をずっと進めていきますと5年したら15人増えるといった組織になりますので、この辺のあり方も次回の準備委員会を開く時までに資料を作らせていただいて、事前に配布させていただいて、そこで議論していただきながら組織のあり方を考えていきたいと思っています。

委員長
委員

今の準備委員会の組織について、何かご質問ありますか。

ちょっと主体性がないのではないかと思います。

将来像とか、スケジュールとか、取り組み方とか、まったくこうやります、こうやりましょうという意思表示が見えない。意見聞いて、意見聞いて。反対の意見もあるし、賛成の意見もあるし、その中で、もう少し主体的に物事を進めるためには、考えるべきところできちんと考えてもらわないといけない。特に組織の構成などは、事務局の中できちんとして決めれば良いこと。そのようなことは話し合う必要はまったくないと思います。

委員長
委員
委員
教育長

今の意見に何か質問異論ある方はありませんか。

今現在のメンバーでよいのではないかと。

メンバーは、教育長が良く検討して決められたら良いのではと思います。

1つだけ、部会をたくさん設けているわけですが、もう、部会も無くて、こちらから提案したことを皆さんで良い悪いを論議していただくようにしていただいて、原案を作るのは事務局にせよと、教育委員会で決めたものを示せと。それを準備委員会で評議をするというスタイルにさせてもらったらと思います。統合準備委員会1つですべてをさせていただくと。委員についてもこのメンバーで最後までいってしまうということでご了解いただいたらという気持ちで準備委員会の体制を進めさせていただきたい。

委員長

統合準備委員会は今のメンバーで。部会は特に設けずに教育委員会の方で原案を出されてこの場で議論するということですが、よろしいでしょうか。

委員

今の意見はPTA会長が入れ替わったとしても同じ今のメンバーでということですか。

委員

基本的には役員が変われば、(準備委員会の)役員が変わるとしたものです。それは引き継ぎの話であって。

委員長
委員
教育長

現在のPTA会長であったり、協議会の会長ということですね。

そう思います。

要は必要と認める者をこれ以上増やさないという意味で1ページの保護者代表と言われる方は、おっしゃるような変わったらそこに入れていただく。

27年度、28年度のPTA会長は残っていただくとしても、他のPTA会長は変わっていただくということで。

委員

僕が思うには、今、PTA会長が2期来ていますが、この2期が入れ替わっていけば良いのではないかと思います。昨年度と現年度と。人数は変わらないし。

委員
委員長

まあ、考えてください。

では、再考していただいて、教育委員会に一任するということがよろしいでしょうか。

全委員
委員長
委員

はい。

その他何かありませんか。

1か所だけ。気持ちは分かるが、南小学校だけ児童の推移が書いてある。これは、全部いるのではないかと。

委員長
教育長
委員長

そうですね。

わかりました。

そういうことでよろしく願います。

そうしましたら、次回、具体的に決めなければいけないことを提案をしていただいて議論をしたいと思っています。今日はありがとうございました。

教育長から、終わりの挨拶をお願いします。

教育長

色々ご意見をいただきまして、この会にかける時には、明確な考えを持って

提案しろということでございますので、そのように努力したいと思います。今後よろしくお願ひします。本日はありがとうございました。

以上